



平成30年12月21日

平成30年度学校保健統計速報（学校保健統計調査の結果速報）の公表について

文部科学省は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として、学校保健統計調査を昭和23年度より毎年実施しています。今般、平成30年度の速報を取りまとめたので、公表します。

なお、確定値の公表は、平成31年3月の予定です。

1. 調査の概要

(1) 調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部（抽出調査）。

抽出率 発育状態：全幼児、児童及び生徒の5.1%（695,600人）

健康状態：全幼児、児童及び生徒の25.3%（3,423,771人）

(2) 調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。

(3) 調査時期：平成30年4月1日から6月30日の間に実施。

2. 調査結果のポイント

【発育状態調査】

(1) 身長の平均値の推移は、平成6年度から13年度あたりをピークに、その後横ばい傾向。

(2) 体重の平均値の推移は、平成10年度から18年度あたりをピークに、その後減少もしくは横ばい傾向。

(3) 肥満傾向児の出現率の推移は、年齢層によりばらつきはあるが、平成15年度あたりからおおむね減少傾向。

【健康状態調査】

(1) むし歯に関しては、ピーク時（昭和40～50年代）より減少傾向が続いており、中学校及び高等学校で過去最低。

(2) 裸眼視力が1.0未満の者は小学校及び高等学校で過去最高。中学校でも、過去最高だった昨年度と同程度の高い割合。

<担当> 総合教育政策局調査企画課

課長 萬谷宏之（内線3416）

分析調査官 牧野浩司（内線2016）

専門調査係長 杉本孝之（内線3240）

電話：03-5253-4111（代表）

平成 30 年度学校保健統計 調査結果のポイント

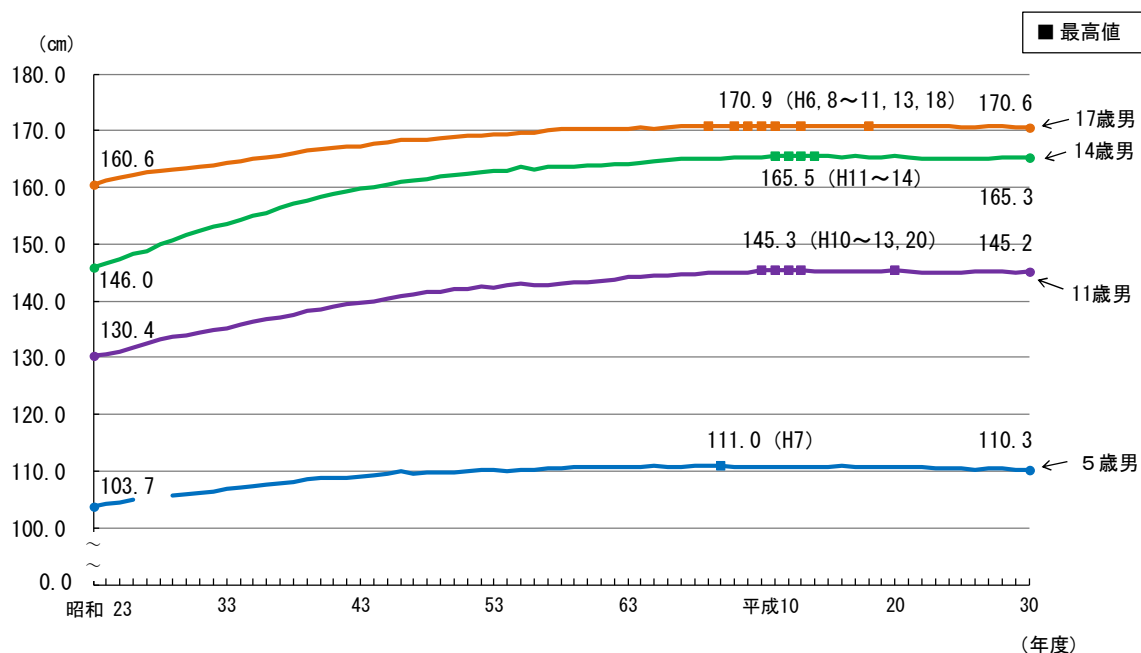
【発育状態調査】

(1) 身長の平均値の推移は、平成6年度から13年度あたりをピークに、その後横ばい傾向。

○身長の平均値の推移（男子）

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	前年度差 A-B	昭和63年度 C(親の世代)	世代間差 A-C
幼稚園	5 歳	110.3	110.3	0.0	110.8	△ 0.5
	6 歳	116.5	116.5	0.0	116.7	△ 0.2
小学校	7	122.5	122.5	0.0	122.3	0.2
	8	128.1	128.2	△ 0.1	127.9	0.2
	9	133.7	133.5	0.2	133.0	0.7
	10	138.8	139.0	△ 0.2	138.2	0.6
	11	145.2	145.0	0.2	144.1	1.1
中学校	12 歳	152.7	152.8	△ 0.1	150.9	1.8
	13	159.8	160.0	△ 0.2	158.4	1.4
	14	165.3	165.3	0.0	164.1	1.2
高等学校	15 歳	168.4	168.2	0.2	167.7	0.7
	16	169.9	169.9	0.0	169.6	0.3
	17	170.6	170.6	0.0	170.3	0.3

- (注) 1. 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
 2. 網掛け部分は、5～17歳のうち前年度差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。
 3. 「△」は減少を示す。以下の各表において同じ。

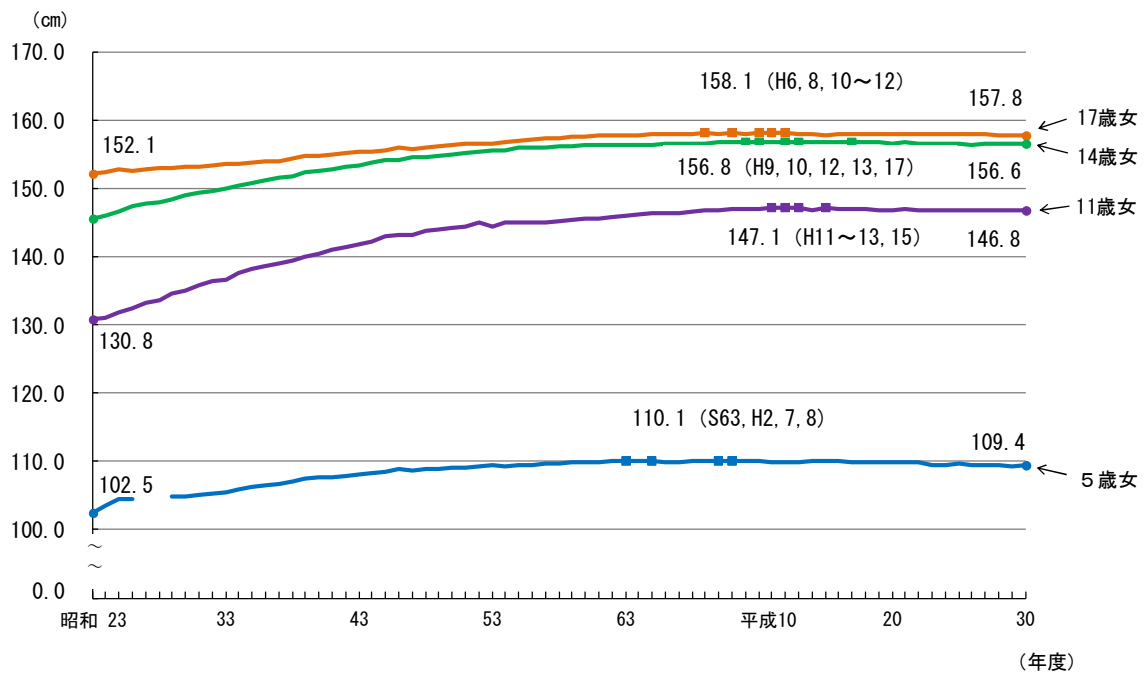


(注) 5歳については、昭和27年度及び昭和28年度は調査していない。

○身長の平均値の推移（女子）

(cm)

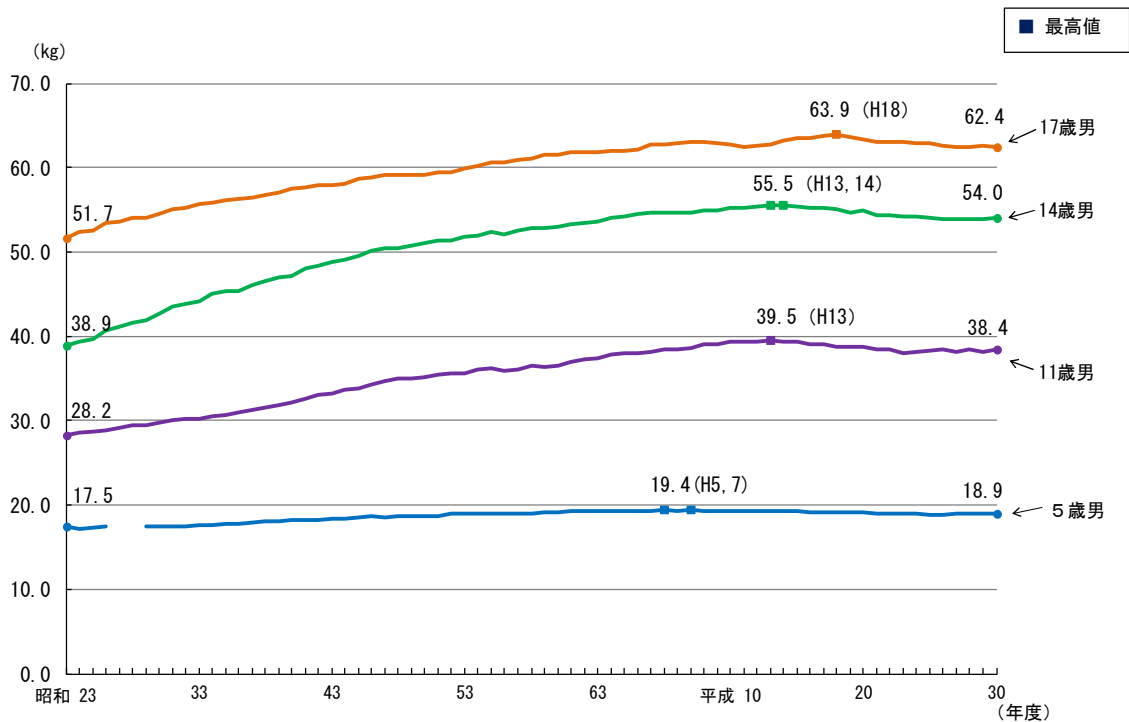
区 分	平成30年度 A	平成29年度 B	前年度差 A-B	昭和63年度 C(親の世代)	世代間差 A-C	
幼稚園 5歳	109.4	109.3	0.1	110.1	△ 0.7	
小学 校	6歳	115.6	115.7	△ 0.1	115.9	△ 0.3
	7	121.5	121.5	0.0	121.6	△ 0.1
	8	127.3	127.3	0.0	127.2	0.1
	9	133.4	133.4	0.0	132.9	0.5
	10	140.1	140.1	0.0	139.3	0.8
中 学 校	11	146.8	146.7	0.1	145.9	0.9
	12歳	151.9	151.8	0.1	151.2	0.7
	13	154.9	154.9	0.0	154.6	0.3
高 等 学 校	14	156.6	156.5	0.1	156.3	0.3
	15歳	157.1	157.1	0.0	157.0	0.1
	16	157.6	157.6	0.0	157.5	0.1
	17	157.8	157.8	0.0	157.8	0.0



(2) 体重の平均値の推移は、平成10年度から18年度あたりをピークに、その後減少もしくは横ばい傾向。

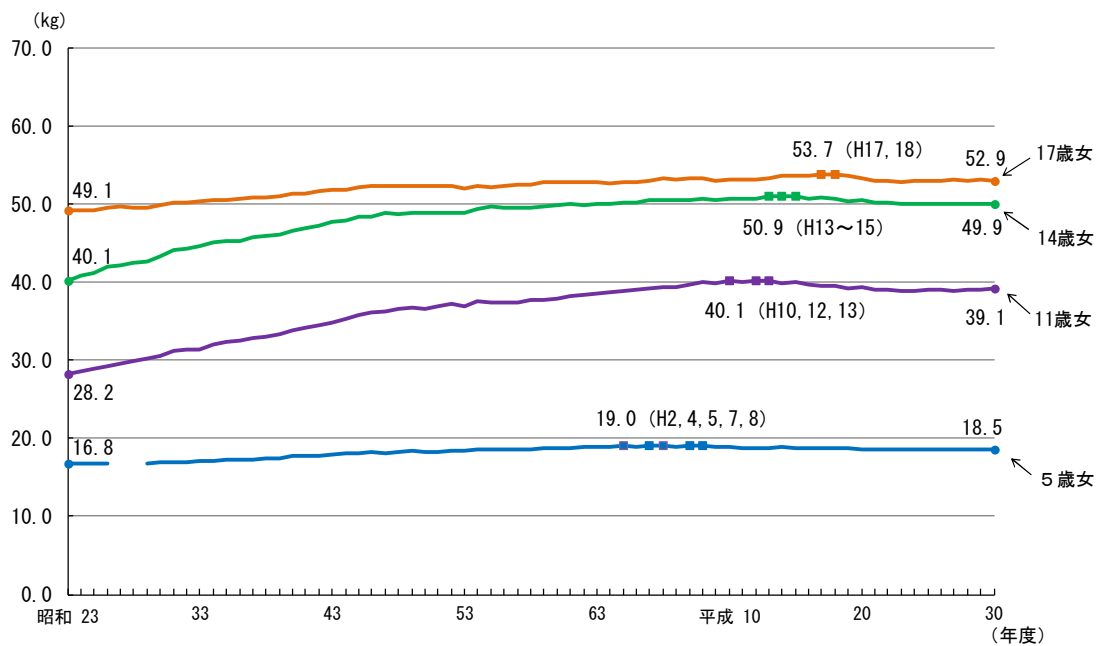
○体重の平均値の推移（男子）

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	前年度差 A-B	昭和63年度 C(親の世代)	世代間差 A-C
幼稚園	5 歳	18.9	18.9	0.0	19.2	△ 0.3
	6 歳	21.4	21.4	0.0	21.4	0.0
小学校	7	24.1	24.1	0.0	23.9	0.2
	8	27.2	27.2	0.0	26.9	0.3
	9	30.7	30.5	0.2	30.0	0.7
	10	34.1	34.2	△ 0.1	33.5	0.6
	11	38.4	38.2	0.2	37.4	1.0
中学校	12 歳	44.0	44.0	0.0	42.9	1.1
	13	48.8	49.0	△ 0.2	48.3	0.5
	14	54.0	53.9	0.1	53.6	0.4
高等学校	15 歳	58.6	58.9	△ 0.3	58.5	0.1
	16	60.6	60.6	0.0	60.6	0.0
	17	62.4	62.6	△ 0.2	61.8	0.6



○体重の平均値の推移（女子）

区 分		平成30年度 A	平成29年度 B	前年度差 A-B	昭和63年度 C(親の世代)	世代間差 A-C
幼稚園	5 歳	18.5	18.5	0.0	18.9	△ 0.4
	6 歳	20.9	21.0	△ 0.1	20.9	0.0
小学校	7	23.5	23.5	0.0	23.3	0.2
	8	26.4	26.4	0.0	26.3	0.1
	9	30.0	29.9	0.1	29.6	0.4
	10	34.1	34.0	0.1	33.6	0.5
	11	39.1	39.0	0.1	38.5	0.6
中学校	12 歳	43.7	43.6	0.1	43.6	0.1
	13	47.2	47.2	0.0	47.3	△ 0.1
	14	49.9	50.0	△ 0.1	49.9	0.0
高等学校	15 歳	51.6	51.6	0.0	52.0	△ 0.4
	16	52.5	52.6	△ 0.1	52.7	△ 0.2
	17	52.9	53.0	△ 0.1	52.7	0.2



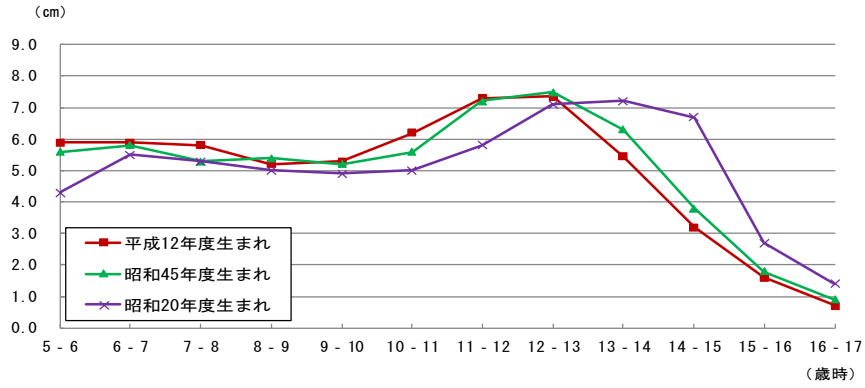
(注) 5歳については、昭和27年度及び昭和28年度は調査していない。

○年間発育量の世代間比較（身長・体重）

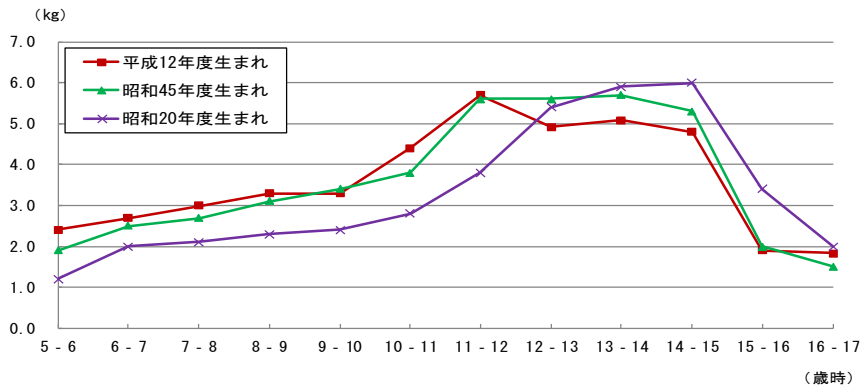
年間発育量を世代間で比較すると、男子、女子共に、身長、体重のいずれも、現代に近い世代ほど早期に増加している。

年間発育量の世代間比較（男子）

身長

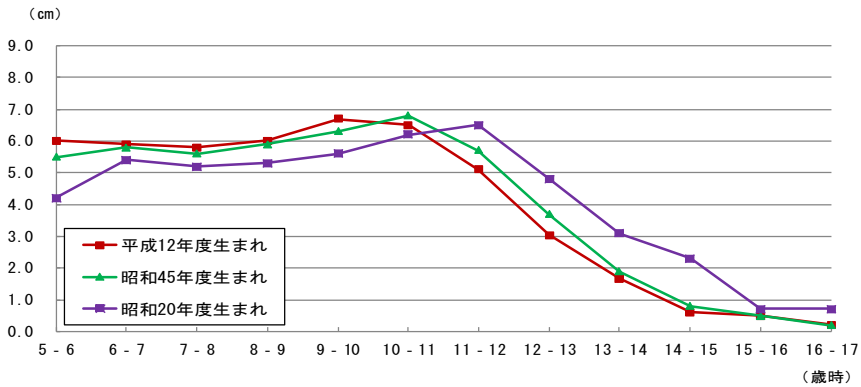


体重

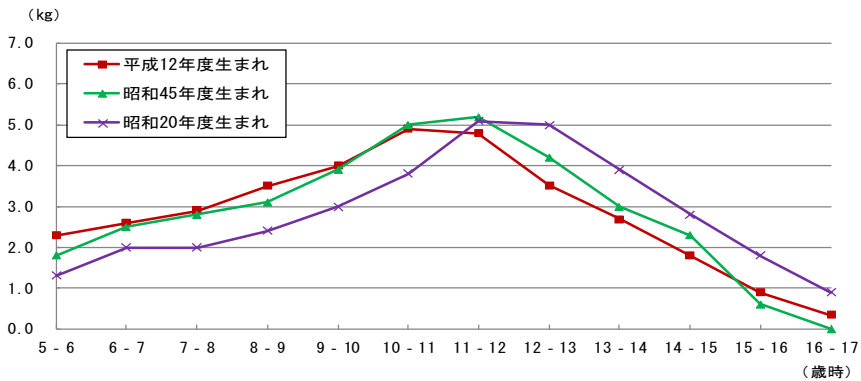


年間発育量の世代間比較（女子）

身長



体重



注：「平成12年度生まれ」は現在17歳（高校3年生）、「昭和45年生まれ」は親の世代の17歳、「昭和20年度生まれ」は祖父母世代の17歳の数値。

(3) 肥満傾向児の出現率の推移は、年齢層によりばらつきはあるが、平成15年度あたりからおおむね減少傾向。

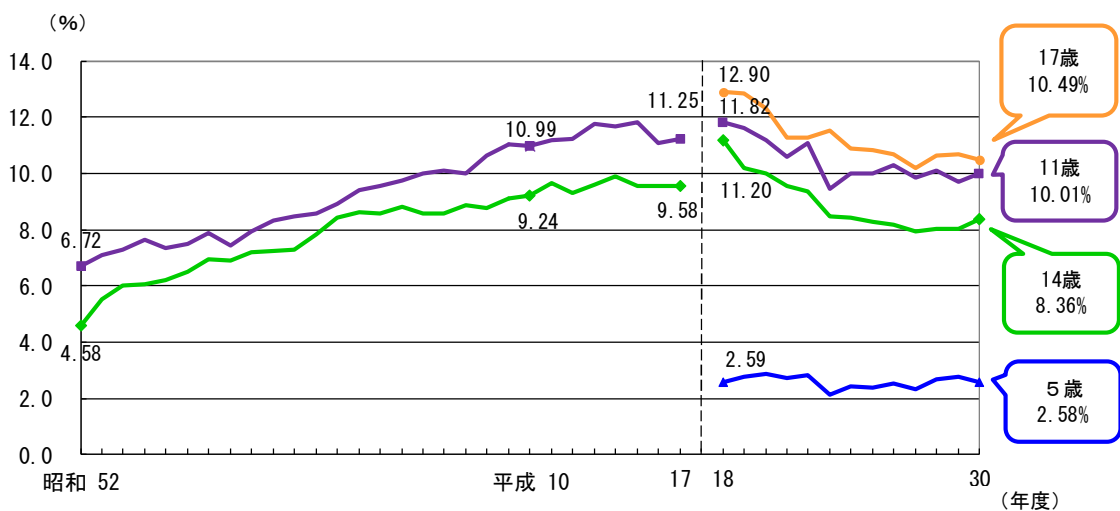
肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

例えば、11歳男子の全国平均値10.01%とは、肥満度20%以上の者の割合が男子児童(11歳)全体の10.01%であることを意味している。

○肥満傾向児の出現率の推移(男子)

区 分	肥満傾向児 (%)			
	平成30年度 A	29年度 B	前年度差 A-B	
幼稚園	5歳	2.58	2.78	△ 0.20
小学校	6歳	4.51	4.39	0.12
	7歳	6.23	5.65	0.58
	8歳	7.76	7.24	0.52
	9歳	9.53	9.52	0.01
	10歳	10.11	9.99	0.12
中学校	11歳	10.01	9.69	0.32
	12歳	10.60	9.89	0.71
	13歳	8.73	8.69	0.04
高等学校	14歳	8.36	8.03	0.33
	15歳	11.01	11.57	△ 0.56
	16歳	10.58	9.93	0.65
	17歳	10.49	10.71	△ 0.22

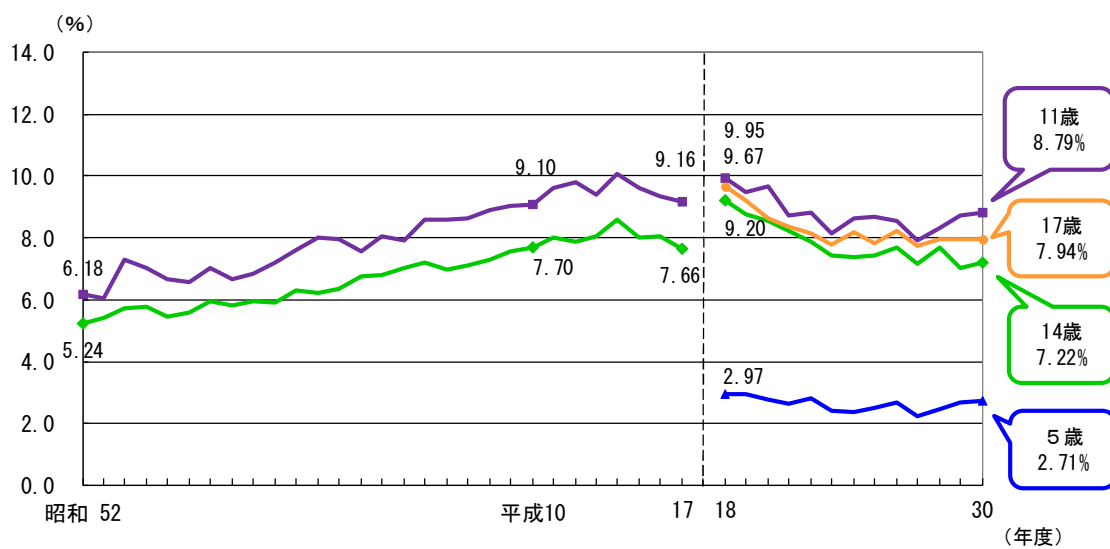


- (注) 1. 平成18年度から肥満・痩身傾向児の算出方法を変更しているため、平成17年度までの数値と単純な比較はできない。
2. 5歳及び17歳は、平成18年度から調査を実施している。

○肥満傾向児の出現率の推移（女子）

(%)

区 分		肥満傾向児		
		平成30年度 A	29年度 B	前年度差 A-B
幼稚園	5 歳	2.71	2.67	0.04
	6 歳	4.47	4.42	0.05
小学校	7	5.53	5.24	0.29
	8	6.41	6.55	△ 0.14
	9	7.69	7.70	△ 0.01
	10	7.82	7.74	0.08
	11	8.79	8.72	0.07
中学校	12 歳	8.45	8.01	0.44
	13	7.37	7.45	△ 0.08
	14	7.22	7.01	0.21
高等学校	15 歳	8.35	7.96	0.39
	16	6.93	7.38	△ 0.45
	17	7.94	7.95	△ 0.01



【健康状態調査】

- (1) むし歯に関しては、ピーク時（昭和40～50年代）より減少傾向が続いており、中学校及び高等学校で過去最低。
- (2) 裸眼視力が1.0未満の者は小学校及び高等学校で過去最高。中学校でも、過去最高だった昨年度と同程度の高い割合。

○総括表

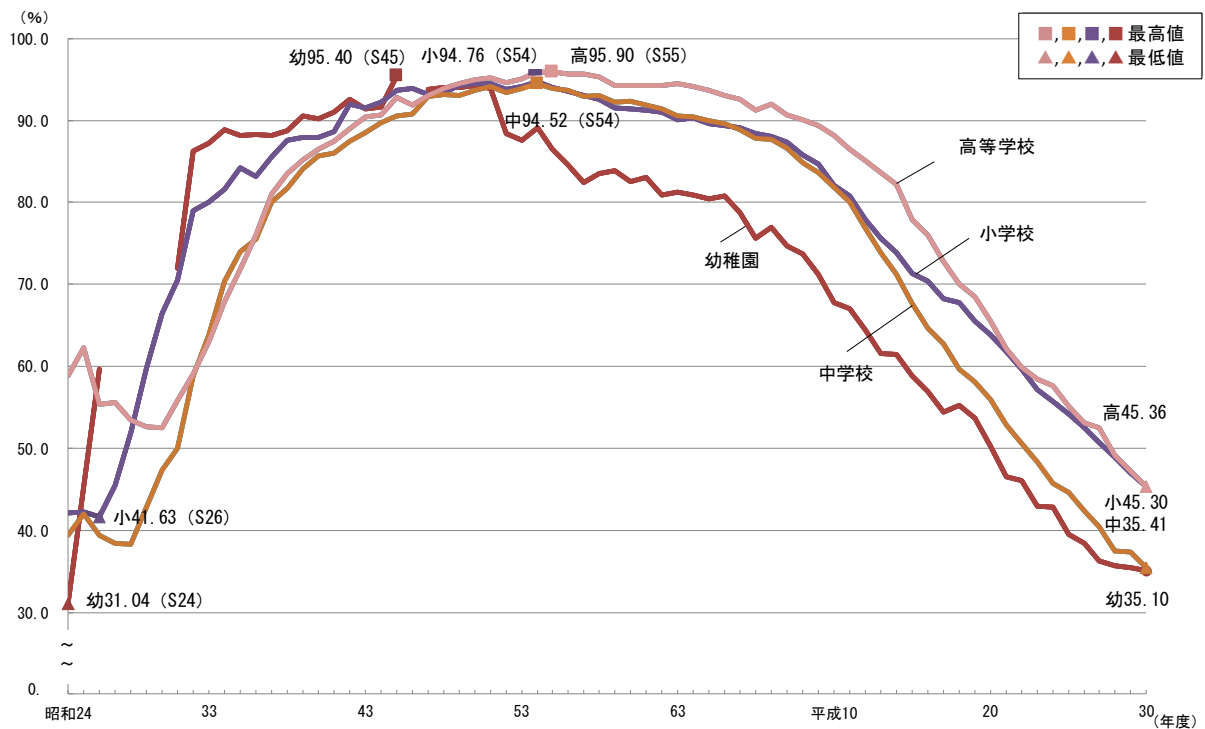
区分	むし歯 (う歯)	アトピー 性皮膚炎	ぜん 息	裸 眼 視 力 1.0 未 満 の 者	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	四 肢 の 状 態 (※注2)	せ き 柱 ・ 胸 郭 ・	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	(%)
幼稚園	平成20年度	50.25	3.54	2.65	28.93	...	0.49	(0.15)	2.80	3.78	1.74	
	25	39.51	2.39	2.13	24.53	...	0.89	(0.19)	2.58	3.44	1.37	
	26	38.46	2.37	1.85	26.53	...	0.74	(0.16)	2.27	3.13	1.74	
	27	36.23	2.52	2.14	26.82	...	0.76	(0.11)	2.23	3.57	1.30	
	28	35.64	2.39	2.30	27.94	...	0.65	0.28	2.83	3.58	1.14	
	29	35.45	2.09	1.80	24.48	...	0.97	0.16	2.25	2.86	1.31	
30	35.10	2.04	1.56	26.69	...	1.03	0.23	2.31	2.90	1.45		
小学校	平成20年度	63.79	3.49	3.89	29.87	2.67	0.69	(0.33)	5.23	11.86	1.75	
	25	54.14	3.06	4.15	30.52	2.62	0.74	(0.38)	5.43	12.07	1.32	
	26	52.54	3.22	3.88	30.16	2.34	0.84	(0.46)	5.70	12.31	1.50	
	27	50.76	3.52	3.95	30.97	2.35	0.80	(0.54)	5.47	11.91	1.23	
	28	48.89	3.18	3.69	31.46	2.44	0.76	1.83	6.09	12.91	1.38	
	29	47.06	3.26	3.87	32.46	2.39	0.87	1.16	6.24	12.84	1.28	
30	45.30	3.40	3.51	34.10	2.40	0.80	1.14	6.47	13.04	1.34		
中学校	平成20年度	56.00	2.66	3.00	52.60	3.45	2.49	(0.94)	3.55	10.82	1.10	
	25	44.59	2.48	3.22	52.79	3.44	2.45	(0.83)	3.89	11.11	0.67	
	26	42.37	2.52	3.03	53.04	3.33	3.00	(1.04)	4.00	11.21	0.67	
	27	40.49	2.72	3.00	54.05	3.17	2.91	(1.02)	3.63	10.61	0.58	
	28	37.49	2.65	2.90	54.63	3.30	2.57	3.43	4.47	11.52	0.69	
	29	37.32	2.66	2.71	56.33	3.40	3.18	2.41	4.48	11.27	0.64	
30	35.41	2.85	2.71	56.04	3.27	2.91	2.40	4.72	10.99	0.75		
高等学校	平成20年度	65.48	2.32	1.82	57.98	3.10	2.82	(0.58)	2.02	8.81	0.59	
	25	55.12	2.14	1.90	65.84	3.19	2.68	(0.58)	2.15	8.74	0.47	
	26	53.08	2.14	1.93	62.89	3.25	3.14	(0.70)	2.05	8.72	0.54	
	27	52.49	2.05	1.93	63.79	3.33	2.95	(0.74)	2.04	7.34	0.44	
	28	49.18	2.32	1.91	65.99	3.39	3.29	2.46	2.30	9.41	0.42	
	29	47.30	2.27	1.91	62.30	3.27	3.52	1.49	2.59	8.61	0.50	
30	45.36	2.58	1.78	67.09	3.34	2.95	1.40	2.45	9.86	0.31		

注1:「心電図異常」については、6歳、12歳及び15歳のみ調査を実施している。

注2:「せき柱・胸郭・四肢の状態」については平成27年度までは「せき柱・胸郭」のみを調査。

■ : 過去最高
■ : 過去最低

○むし歯（う歯）の者の割合の推移



○「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合の推移

